

4 ふるさと・キャリア教育

具体的な内容		自己評価A	関係者評価	関係者評価委員(学校評議員)のコメント
ふるさと鹿角に対する誇りを持ち、将来に向かってよりよく生きようとする夢や希望をもっている。	前期	良好	良好	地域の協力がなくとも継続が難しいと思うが、とてもよい取組が続けられているので素晴らしい。5・6年生の販売体験活動などの試みもよかった。来年度も、統合校での活動も見据えながら、様々な活動を充実させてほしい。
	年度	良好		
評価指標	実践課題		主な取組	自己評価B 前期 年度
(12)ふるさと鹿角に対する誇りと愛着心の醸成	⑮地域素材・人材を生かした体験学習の充実		・地域素材、人材を生かした体験活動 ・農園活動 ・地域体験、社会科見学	4 4
	⑯「ふるさと・キャリア教育」の実践		・発達段階に応じた年間計画の立案と実践 ・地域の人材活用	

学校の改善策

【前期(→年度)】

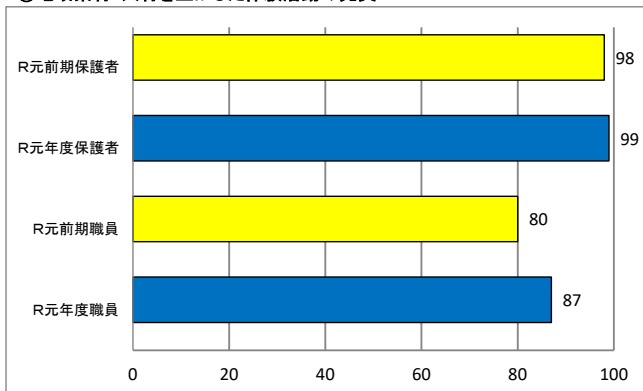
・総合的な学習の時間の取組みに対する地域の方々の協力が大変ありがたい。鹿角のよさを味わったり気付いたりすることができ、子どもたちも生き生きと活動している。
・昨年度の起業体験推進事業を生かし、地域の観光地や福祉関係での販売活動や体験活動など、進んで地域の人々と関わっていく機会を増やし、そのよさを味わわせたい。

【年度(→次年度)】

・地域の方々のご協力をいただきながら、来年度も今年度と同様に体験活動を行っていく。また、その体験から、ふるさとのよさに気付いていけるような指導の工夫も心掛けたい。
・5・6年生による販売体験活動は、子どもの気付きも多くねらいを達成するのに有効な活動であったため、来年度も継続したい。その際、今年度の反省を生かし、閉校を意識した取組としたい。
・閉校記念に、夢先生やようこそ先輩などの機会を今年度より増やしたい。

<(12)に関するデータ>

⑮地域素材・人材を生かした体験活動の充実



(保護者アンケート記述より)

・学校から外に出て学習することは、子どもも楽しみにしており、帰ってからも話してくれるので、継続してほしい。
・リンゴを育てさせてもらったり、お米を育てる体験や収穫したお米を販売したりするところまで体験できるのは、とてもよい。
・農作業体験等、普段行くことがないようなことは、今後の成長へとつながっていくと思われ、続けてほしい。



3年生 アップル調査隊

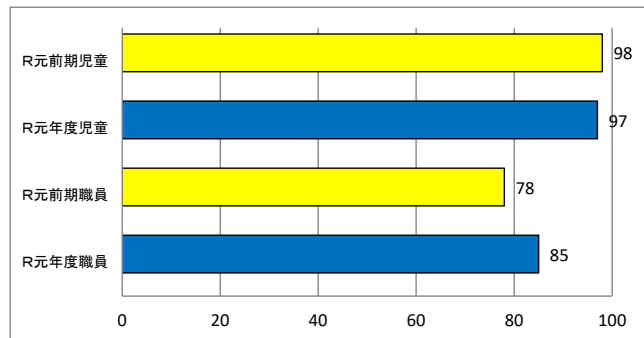


5年生 稲作体験学習

3年生のアップル調査隊、4年生の福祉教育、5年生の稲作体験学習、6年生の桃の調査とEM石鹸づくり、5・6年生のなわなり集会及び収穫感謝祭など、活動がしっかりと定着し、本校の特色となっている。地域素材・人材を生かした体験活動の充実により、子どもたちは地域の産業や職業について知るきっかけにもなる。この項目に関しては、保護者からの評価も大変高い。明確なねらいをもち、地域の方々の協力を得ながら行う、このようなふるさとをフィールドにした体験活動に取り組むことにより、地域のよさを見つめ直し、郷土愛を醸成する機会になる。また、自然のよさにふれ、地域の人々とふれあう喜びを感じることで、豊かな心が育まれていると考える。

来年度も本校の地域性を生かしながら、社会科や生活科、総合的な学習の時間(北っ子タイム)を中心にぜひ、充実させていきたい。

⑯「ふるさと・キャリア教育」の実践



前年度取り組んだ「起業体験推進事業」の趣旨を継承して実施した、5・6年生を対象とする「夢を育む教室」では、働くことの意義や夢や目標をもつことの大切さ、「魅力あるまちづくりに貢献できること」などを学ぶ機会となった。また、鹿角の魅力を再認識する機会にもなった。

児童、職員ともこのような取組に対して肯定的な評価をしており、前期と同様に自己評価を「良好」とした。取組を他教科と関連付けて行うことで、相乗効果も期待できる。なお、昨年度は試行として休日に希望者のみが行っていた「道の駅あんたらあ」での販売体験を、今年度は教育活動の中に組み込んで5・6年生全員が実施するようにした。課題解決能力やコミュニケーション能力の育成にも結び付き、教育的な効果も大きかった。



夢を育む教室



6年生の道の駅での販売体験

自己評価A及び外部評価の評価区分
○ きわめて良好
○ 良好
○ おおむね良好
○ やや不十分
○ 努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対して91%以上達成・前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対して80~90%達成・前年度比103~107%
3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対して60~79%達成・前年度比98~102%
2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対して50~59%達成・前年度比93~97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対して49%以下の達成・前年度比92%以下